

## オープン市場短信 (2017年12月)

2017.12.13

### ◆ 11月のCP市場動向

11月のCP市場は、事業法人の納税や賞与資金手当等から、発行増となった。月末の市場残高は、前月比で7,374億円増加し、約16兆5,602億円に達した。また、前年同月比においても、1兆4,253億円増加し、9か月連続して前年を上回る結果であった。

業態別動向について、一般事業法人は、卸売業や鉄鋼等を中心に多くの企業で発行されたため、前月比7,116億円増加した。また、その他金融は同891億円、金融機関も同450億円と、それぞれ増加した。一方、ABC Pについては、組成ニーズが後退したことで同1,083億円減少した。

発行レートのレンジは、投資家の購入ニーズが引き続き強いいため、期間や銘柄にかかわらず、浅いマイナスレート～0%近辺での出合いが中心であった。

#### 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄 (a-1+格)  $\Delta$ 0.006%～0.000%近辺。一般事業法人 (a-1格)  $\Delta$ 0.006%～0.000%近辺。その他金融銘柄 (a-1格)  $\Delta$ 0.004%～0.003%近辺。

#### 【業態別残高内訳】

(単位：億円)

業 態	11月末残高	10月末残高	増 減
一般事業法人	57,442	50,326	7,116
その他金融	78,036	77,145	891
金融機関	18,314	17,864	450
政府系金融	1,500	900	600
銀行等	7,810	10,180	-2,370
証券	9,004	6,784	2,220
ABC P	11,810	12,893	-1,083
計	165,602	158,228	7,374

(注：買入消却分含む)

【格付け別の発行レート】

11月のCPLレートレンジ

(単位 %)

格 付	1か月	2か月	3か月
a-1+ (一般事法)	△ ~ 0.0000%	△ ~ —	△ ~ 0.0000%
a-1 (一般事法)	△ ~ 0.0000%	△ ~ 0.0000%	△ ~ 0.0000%
a-1+ (リース銘柄)	△ ~ 0.0000%	△ ~ 0.0000%	△ ~ 0.0000%
a-1 (リース銘柄)	△ ~ 0.0200%	△ ~ 0.0037%	△ ~ 0.0030%
a-2	△ ~ ケ0.10%	△ ~ ケ0.10%	0.0200% ~ ケ0.10%

«CPオペ»

CP等買入オペのオファー額は、10月の各回3,000億円に対し2,000億円と減額された。按分レートは、各回とも△0.001%となり、前月（△0.005%～△0.003%）と比較し、やや上昇する結果になった。

〈月末オペ残高：2兆1,781億円〉

«ABCP»

ABCPは、組成ニーズが後退したため前月比1,083億円減少し、月末残高は1兆1,800億円であった。前年同月比では、1,219億円の減少で過去最低水準となっている。

«短期社債登録状況»

証券保管振替機構によると、11月末時点における発行登録企業数は520社と、前月と変わらない状況である。

«CP現先市場»

現先(S/N)レートは運用ニーズ強く、マイナス～0%近辺での出会いとなった。0%では、買い残り状態となっていた。

## ◆ 12月のCP市場動向

12月のCP償還額は、約4兆3,700億円で前年同月の償還額（約3兆6,200億円）を上回っている（除く、相対発行分・金融機関発行CP・ABC P）。

今月の発行動向は、賞与資金手当てや配当金等の対応により、月中はショートターム物中心に償還を上回る発行が見込まれる。月末残高は、前年の14兆8,889億円を上回り、16兆円台前半を予想する。

発行レートは、月中償還物で0%近辺での出会い、投資家の運用ニーズが強い年越え物の発行案件は、浅いマイナスから0%近辺での出合を予想する。

### «CPオペ»

今月のCP等買入オペは、6日（実施済み）・14日・26日と各回4,000億円（前月よりも各回2,000億円の増加）で予定されている。6日のオペは、活況な発行市場を背景に応札額が9,624億円（前回 4,740億円）と膨らんだものの、オファー額の増額の影響もあり、按分レートは $\Delta 0.002\%$ （同  $\Delta 0.001\%$ ）と小幅低下した。次回以降のオペは、年末のオペ残高を睨みながら応札すると思われる、按分レートは低下方向を予想する。

### «CP現先市場»

CP現先レートは、投資家の運用ニーズが強く、引き続きマイナスから0%近辺での出合いを予想する。

参考資料

(単位：億円)

11月末発行残高上位10社

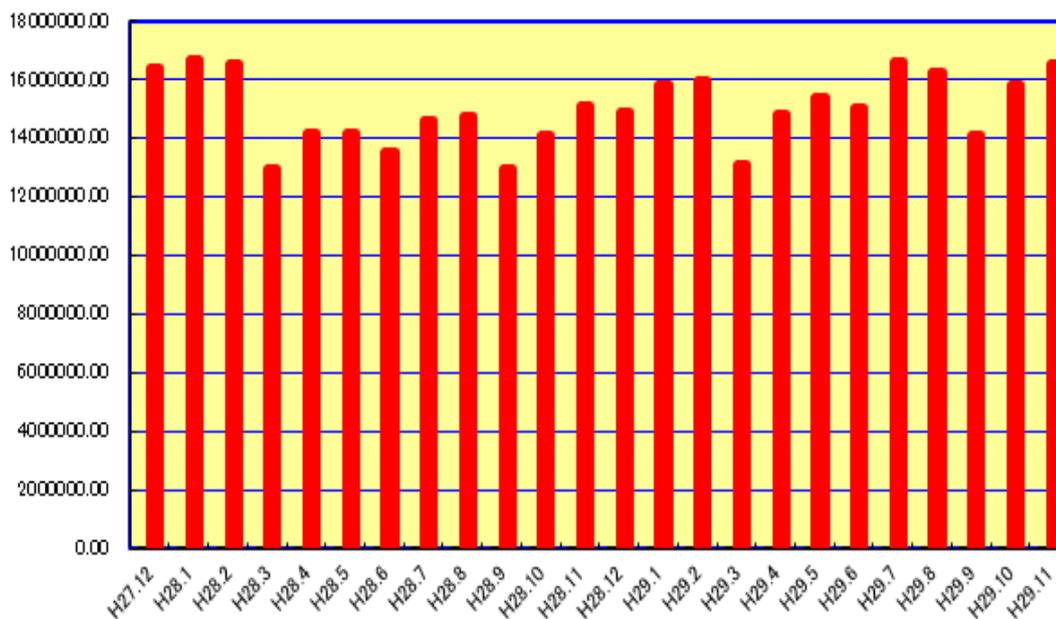
(単位：百万円)

	発行企業名	11月末残高	10月末残高
1	三井住友ファイナンス&リース	984,400	1,003,400
2	三菱UFJリース	819,000	828,600
3	東京センチュリー	630,000	596,600
4	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	607,600	407,600
5	クレディセゾン	490,500	487,500
6	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	484,290	516,490
7	興銀リース	447,700	407,700
8	芙蓉総合リース	422,200	399,200
9	JA三井リース	408,000	395,000
10	三菱重工業	392,000	343,000

短期社債月末残高 (H27年12月～H29年11月)

発行登録企業：520社

(過去2年間の残高を表示)



参考出所 (株)証券保管振替機構

-----  
本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性について保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

大阪本社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会